

関東学院六浦中・高 2015年4月 神奈川県初の“女子ラグビー部”を創部 2020年の東京五輪に向けて、アスリート育成を支援

関東学院六浦中学校・高等学校（横浜市金沢区 校長：黒畑勝男）は、神奈川県内の中学校、高等学校では初となる女子ラグビー部を2015年4月に創部します。

2016年のリオデジャネイロオリンピックで7人制の女子ラグビーが正式種目として採用されるなど、女子ラグビーへの注目は高まりつつあります。また、学習指導要領にタグラグビーが例示される以前の2002年から、横浜市内の小中学校ではタグラグビーが体育の授業で取り入れられていたことなどもあって、神奈川県内の女子ラグビーの競技人口は他県に比べ多い状況が続いています。しかしながら、神奈川県内に女子ラグビー部を持つ中学校や高等学校がないことにより、人材流出や、選手が女子ラグビー部を持つ県外の高等学校への遠距離通学を強いられるなどの課題も抱えていました。関東学院六浦中学校・高等学校では神奈川県ラグビーフットボール協会女子委員会から要請を受けて、これらの課題を解決するとともに2020年に開催予定の東京オリンピックに出場する選手の育成を目的として、女子ラグビー部の創部を決定しました。

指導にあたっては、関東学院六浦中学校・高等学校で男子ラグビー部を指導する教諭が中心に取り組むとともに、関東学院大学ラグビー部のコーチ陣が全面的にバックアップ。史上最年少で日本代表の主将を務めた経験を持つ鈴木実沙紀選手（関東学院大学ラグビー部所属）も、中高生の指導に参加します。

取材等に関わるお問合せ先

学校法人関東学院 広報企画課 TEL：045-786-7049

関東学院六浦中学校・高等学校

1946年関東学院中学部が戦災の影響で、現在の横浜市金沢区に移転。49年に関東学院中学校高等学校が旧校地（横浜市南区）に復帰するが、六浦教室として現在地で教育をつづけ、53年に正式に関東学院六浦中学校・高等学校として独立。

普通科 中高完全一貫校。生徒数1,077名（2014年5月1日現在）校長：黒畑勝男